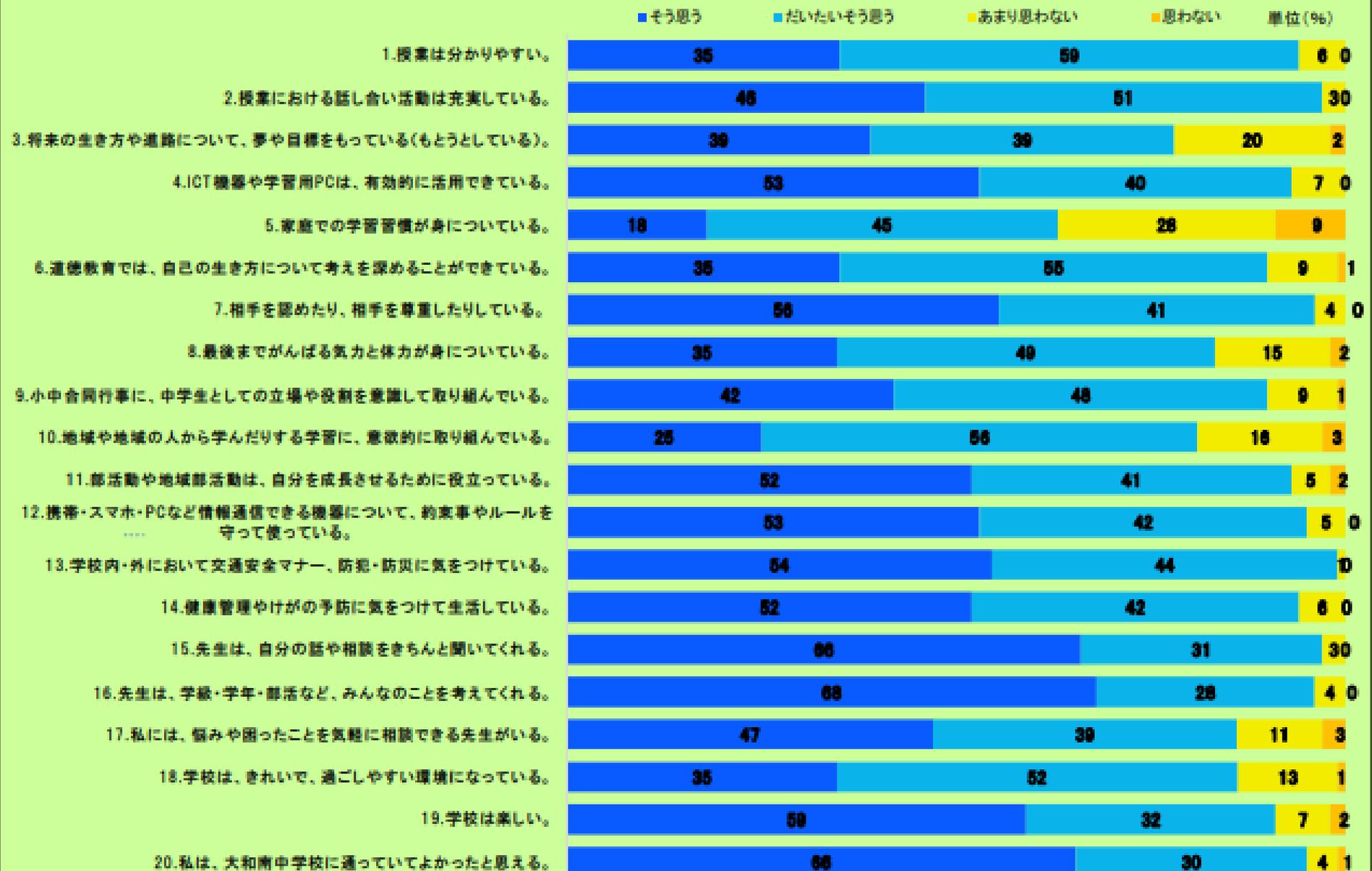
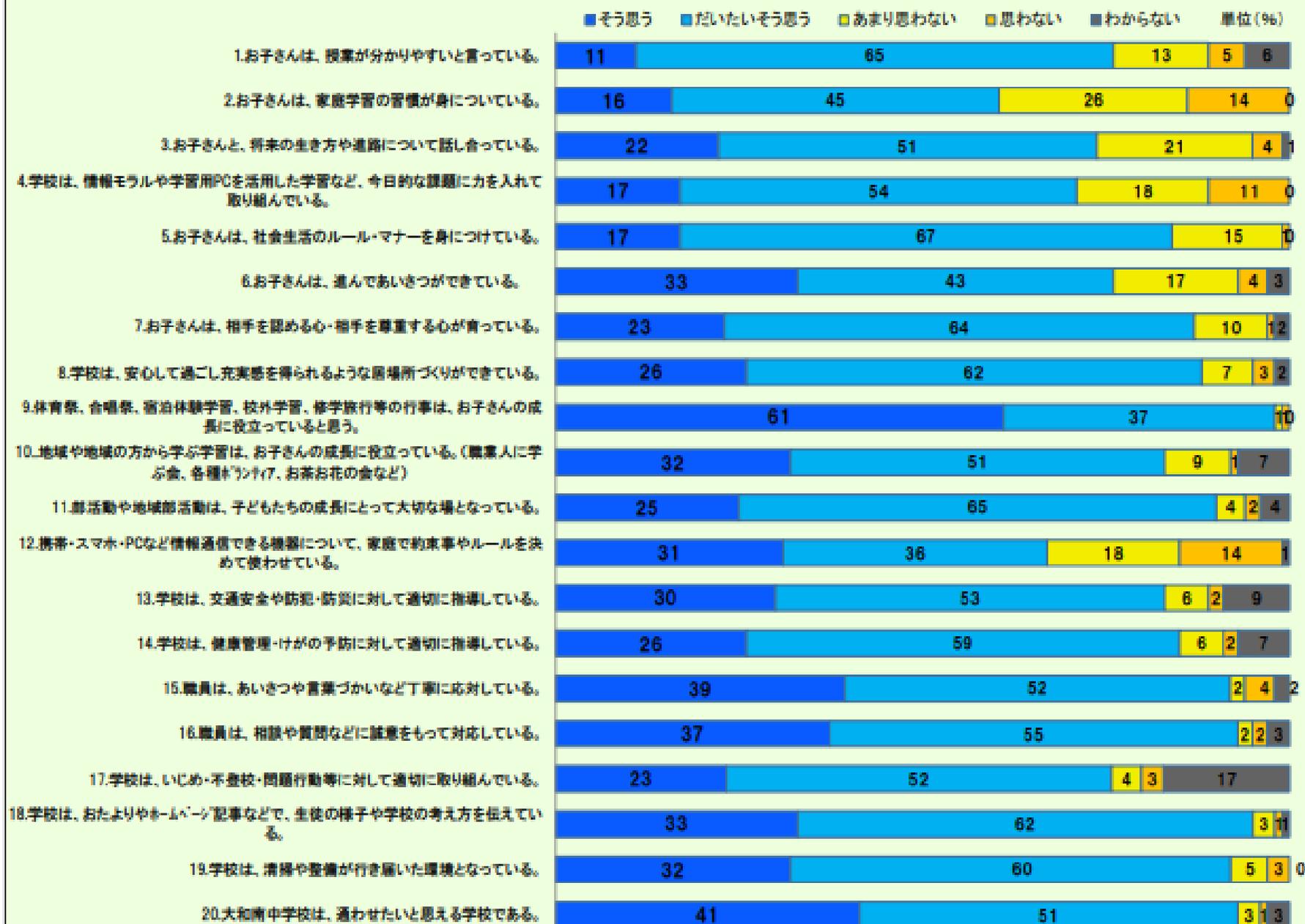


令和6年度 学校評価 <生徒アンケート結果>



令和6年度 学校評価 <保護者アンケート結果>



◆◆◆ 学校評価のまとめと次年度へ向けて ◆◆◆

(1) 確かな学力の育成について

「3. 将来の生き方や進路について、夢や目標をもっている」について、生徒は、あまり思わない・思わないが22%であった。本校は、例年3年次に進路行事が偏っている。次年度からは、3年間にわたってバランスよくキャリア教育が行えるよう、2年次に卒業生と語る会を実施していく。

今年度も、生徒・保護者の家庭学習の項目で肯定的な回答は伸び悩んでいる。学校で学習した内容を復習して理解を深め、定着させるべき家庭学習を全生徒が充実させるには、さらなる工夫が必要で、対策を講じていかななくてはならない。各教科の課題提出で終わらせず、定期的に授業内で小テスト等を実施し、家庭で既習内容を繰り返し学習できるよう学校全体で実践を行う。また、chromebookの日常的な持ち帰りを検討・実践し、家庭学習の充実化を図っていきたい。

(2) 豊かな心の育成について

「8. 最後までがんばる気力と体力が身についている」については、ここ数年間、「そう思う」と答えた数値は他の項目に比べて大幅に低い。今年度も心が不安定な生徒や自己肯定感の低い生徒がみられるため、教師が連携をとり継続して温かい声かけをしていきたい。また、年間を通して、授業や行事において、個々が活躍できる場をより多く設定していきたい。

(3) 健やかなからだの育成について

「12. 携帯・スマホ・PCなど情報通信できる機器について、家庭で約束事やルールを決めて使わせている」については、特に保護者からのアンケート結果が昨年度と同様の数値である。学校においても年間計画の中に、情報モラル講座をはじめ定期的に生徒向けの指導を実施していきたい。今後は、特にスマートフォン等の使用について保護者向け、家庭におけるルール作りの啓発も定期的に実施していきたい。

今年度も本校は、命にかかわる大きな事故は発生していないが、市内の状況を見ても、自転車の事故が大半を占めており、命に係わるような大きな事故も数件起きている。登下校をはじめ、学校外においてもヘルメット着用の徹底や交通安全注意喚起を、今後も定期的の実施していきたい。また、教師の防犯・防災に対する意識についても高めていく必要がある。今後、地震に限らず避難訓練や不審者対策、KYT等を実施し、生徒が安心して過ごすことができる学校にしていくためにも、学校全体で危機管理意識の向上や現職教育の実施を取り組んでいきたい。

(4) 信頼される学校づくり

「17. 私には、悩みや困ったことを気軽に相談できる先生がいる」について、生徒はあまり思わない・思わないが14%である。この結果を真摯に受け取り、担任との定期的な面談に留めず、学年職員や部活動顧問、SCや心の教室相談員など学校全体で相談体制を強化していきたい。また、教師間でも共有し、生徒が仲間とともに安心して過ごすことができるよう魅力ある学校づくりを実践していきたい。

小規模校での特性を生かし、職員同士の共通理解、協力体制をさらに強化して、生徒、保護者の期待に答えられるように、学校全体で、わかる・できる・身につく喜びを引き出す授業づくり、魅力ある学校づくりを推進し、学校理解を深めていきたい。また、次年度以降も、大和南中学校区一小一中の小規模校の特性を生かすこと、地域とのかかわりを大切にする、小中の連携強化を図ること、可能な限り学校行事を推進していき、学校と地域との連携・協働による「地域とともにある学校」への転換を図り、自校や地域への誇りや愛着をもって生きる生徒の育成に努めていきたい。